

3大疾病保障制度

3大疾病保障保険(団体型)

会員の方だけがお申込みできる
3大疾病(がん・急性心筋梗塞・脳卒中)と
死亡に備える新しい保障制度がスタート!



3大疾病罹患時や
万一に備え、
必要な保障確保を!

20~24歳
女性の場合
30~34歳
女性の場合

死亡保険金・3大疾病保険金 (上皮内新生物診断保険金)

安心プラン | おすすめプラン | スタートプラン

500万円
(50万円)

300万円
(30万円)

100万円
(10万円)

月払掛金(概算)

1,198円

806円

414円

1,863円

1,205円

547円

※年齢・性別により掛金は異なります。

※年齢は満年齢で記載しております。

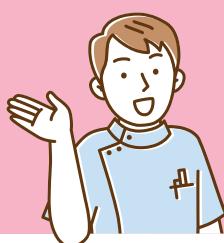
「満年齢」は、契約日時点での被保険者の年齢を満年齢で計算し、1年未満の端数は切捨てます。

※上記に記載のない年齢の方および男性の保険金額の掛金については、パンフレット3ページをご覧ください。

上記は概算掛金です。正規掛金は申込締切後に算出し、契約日から適用します。なお、払込みいただいた掛け金と正規掛け金に差異が生じた場合は精算させていただきます。掛け金は、毎年の更新日に再計算し適用します。年齢が上がり、次の年齢群団へ移る方が同額の保険金額で更新された場合、通常、更新後の掛け金は更新前より高くなります。

※以下の金額が「制度運営費」として掛け金に含まれております。

一律218円



さらに、加入者ご本人および配偶者、二親等以内のご親族が、レジャー・エンタメ、グルメ等の豊富なメニューを優待価格でご利用になれます。

詳細や加入手続き書類は、本会ホームページ「ピックアップ」内の『日本看護協会会員向け「福利厚生サービス」』内にある「3大疾病保障制度」に登載しております。

申込締切日:令和8年1月30日(金)
効力発生日:令和8年4月1日

- 当保険制度は毎月募集をしておりますので、上記効力発生日以外でも加入可能です。
- 毎月募集時に加入される場合は、毎月15日(15日が土日祝日の場合は前営業日)までに各都道府県看護協会へ「申込書兼告知書」をご提出ください。
なお、引受保険会社が「申込書兼告知書」を受理した場合、効力発生日は、その翌々月1日となります。
- 令和8年以降毎年2月1日~3月1日および5月1日の効力発生日については、毎月募集の取扱いを行っておりません。

<がんに備える費用>

「もしも」の場合には経済的な負担も…！

がんの完治の平均的な目安は、「治療後5年間再発しないこと」とされています。がんの完治に向けて、再発防止等のために5年間通院しなければならない可能性があります。

●がんになった場合にかかる費用の目安(5年間総額)

がんの治療は、がんの部位や進行度などによってさまざまです。

	公的医療保険制度 対象の治療費	公的医療保険制度 対象外の治療費	治療費以外の費用
ステージI・II の場合 (比較的進行度が低いがん)	約378万円	= 約151万円 + 約54万円	+ 治療費以外の費用 入院準備や医療用ウイ ッグ等の費用
ステージIII・IV の場合 (比較的進行度が高いがん)	約491万円	= 約220万円 + 約97万円	+ 約173万円

*がん罹患後に発生した医療費の総額を基に、自己負担割合3割として計算(高額療養費制度適用後の金額)

【公的医療保険制度対象の治療費】ニッセイ基礎研究所「2024年度 3大疾病への備えと治療の実態に関する調査」から計算

【公的医療保険制度対象外の治療費】<差額ベッド代・食事代(標準負担額)>差額ベッド代:1日当たりの差額ベッド代6,714円×平均合計入院日数66日(ステージIII・IV:119日)=約44万円(ステージIII・IV:約79万円)・食事代(標準負担額):1日当たりの食事代1,470円(一般所得者/一般病床等の場合)×平均合計入院日数66日(ステージIII・IV:119日)=約9万円(ステージIII・IV:約17万円)(差額ベッド代:厚生労働省「中央社会保険医療協議会総会(第591回)資料 主な選定療養に係る報告状況」/食事代(標準負担額):2024年度の公的医療保険制度に基づいて計算)/平均合計入院日数:ニッセイ基礎研究所「2024年度 3大疾病への備えと治療の実態に関する調査」から計算)

【治療費以外の費用】ニッセイ基礎研究所「2024年度 3大疾病への備えと治療の実態に関する調査」から計算/(株)ダスキンメリーメイドの「家事お手伝いサービス」※2024年11月現在の標準料金を参考に設定。(13,200円(税込)(標準料金1回・1名・2時間)×12回(1カ月に1回程度))家事・育児代行費用の一例として「家事代行」の費用を記載しております。

監修:(公財)日本生命済生会日本生命病院

※当記載内容は、2024年12月現在の公的医療保険制度に基づきます。

<がんの罹患リスク>

生涯のうち、約半数の方が「がん」と診断される時代です！

生涯でがんと診断される確率

男性 65.5%
女性 51.2%

下表のとおり、生涯のうち
おおよそ2人に1人が
がんと診断されています。

年齢階級別罹患リスク(2019年罹患・死亡データに基づく)全がん

	~39歳	~49歳	~59歳	~69歳	~79歳	生涯
男性	1.2%	2.8%	7.7%	21.4%	43.0%	65.5%
女性	2.3%	6.3%	12.5%	21.4%	33.3%	51.2%

表: (公財)がん研究振興財団「がんの統計2024」年齢階級別罹患リスク(2019年罹患・死亡データに基づく)
部位 全がん

※当データの疾患は、当保険における保険金の支払事由の対象となる疾患と異なる場合があります。

○5年再発しなければ生きられる可能性が高くなります。

がん部位別5年生存率の状況

がんの5年生存率(その後の5年間で生存する割合)は、診断から5年後に生存している方(5年サバイバー)でみると、診断時よりも高くなる傾向にあります。

15~99歳男女の部位別サバイバー5年相対生存率(2002-2006年追跡例)

(単位: %)

男 性	胃	結腸	直腸	肝臓	肺	前立腺
診断時	63.3	70.9	65.5	25.3	22.8	87.4
5年サバイバー	96.8	97.2	92.7	38.0	79.4	89.2
女 性	胃	結腸	直腸	肝臓	肺	乳房
診断時	60.3	65.3	66.9	23.6	37.0	87.6
5年サバイバー	96.5	96.1	94.4	38.4	84.2	90.5
子宮頸部						95.4

※サバイバー…

診断から一定年数後生存している方をいいます。

※5年サバイバーの5年生存率…

診断から5年後に生存している方に限って算出した、その後の5年間(診断から合計10年後)の生存者の割合です。

Long-term survival and conditional survival of cancer patients in Japan using population-based cancer registry data.
Cancer Science 2014; 105:1480-6.